

碧水だより



ひがんばん

—めざす子ども像—
・仲よくする子、かしこい子、たくましく生きる子

平成18年 9月26日 第 5 号
阿蘇市立碧水小学校 羽 山

10月行事予定表

日	曜	校 内 の 行 事	給 食
1	日	中央幼稚園運動会	×
2	月		○
3	火	学校訪問	○
4	水	校内研修	○
5	木	映画観賞 (風のダドゥ)	○
6	金	クラブ	○
7	土	2年生親子のふれあい	×
8	日		×
9	月	体育の日	×
10	火	生活集会	○
11	水		○
12	木	修学旅行	○
13	金	修学旅行	○
14	土		×
15	日	阿蘇PTA連合会、ひのやま教育実践発表	×
16	月	校内描画週間	○
17	火		○
18	水	校内研修	○
19	木		○
20	金		○
21	土	郡市ミニバスケットボール大会 (~22日)	×
22	日	日本火山学会発表	×
23	月		○
24	火	音楽集会	○
25	水	職員会議	○
26	木		○
27	金	本物の舞台芸術体験	○
28	土	県人権子ども集会 (二の丸)	×
29	日		×
30	月	学習成果発表会 (県立劇場)	○
31	火		○

11月の予定 3日郡市学童駅伝 25日学童サッカー大会

運動会が雨で中断、中止

九月九日に運動会が行われました。例年より四日早く二学期が始まり練習を積み重ねて当日を迎えました。

天候の影響で野外での練習が充分には出来ませんでした。前日夕方の保護者総出の準備で無事に当日を迎えることが出来ました。

朝五時三十分に天気予報で雨が予想される中、延期しても天気の回復が望めないこと等から開催を決定しました。特別プログラムで変則的に実施し午後が雨でも子どもたちの競技だけは実施できるように計画しました。

会式、応援団演技と続きました。時々小雨が降る中、どうにか競技を進行してきましたが、午前の最大の競技「虎舞い」を始めようとしていた矢先雷鳴とどしや降りにより急きよ中断し中止することになりました。

少々の雨では継続するつもりでしたが雷が予想され落雷の危険性があったこと、一度大量の雨が降ると半日は水が引かないこと等から競技継続は不可能であると判断しました。

練習の成果を出し切ることができず残念な思いもありましたが、児童も雨に濡れながら懸命の応援や演技を行い頑張ってくれました。



ミニ運動会を行いました

九月九日の運動会が雨のため途中で中止となり実施できなかった競技を二十二日にミニ運動会として実施しました。

午前中の二、三間目に四年生の徒走、全学年の技巧走、虎舞いを行いました。

二週間のブランクがあり心配しましたが、整然とした中にも全員が一生懸命に競技する姿が見られました。

最後は運動会のメインイベントの虎舞いが、昨年より役犬原



グラウンドは水浸し



どしや降りの雨に中断

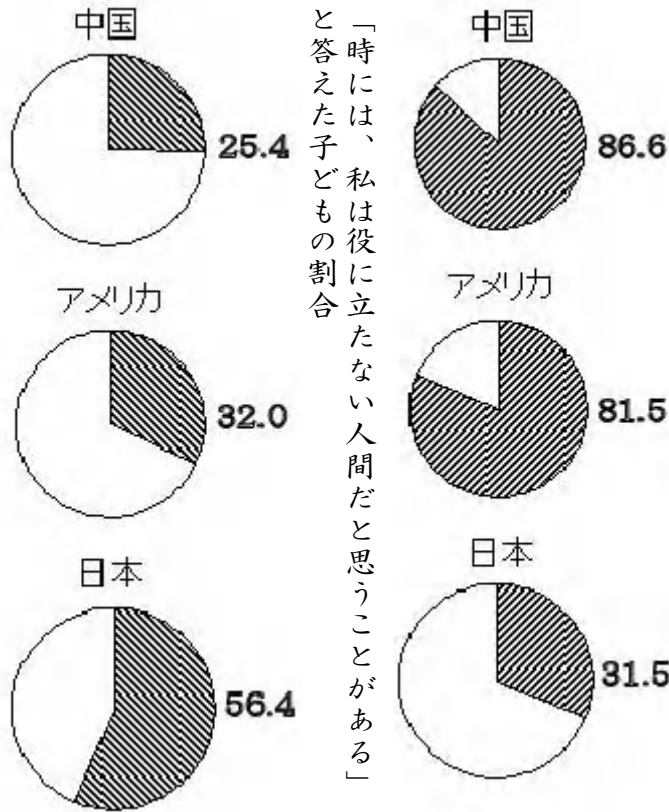


太鼓を取り入れたすばらしい演技を見せてくれました。平日の午前中の実施というご迷惑をおかけしましたが、たくさんの方においでいただき声援をおくっていただきました。

自己評価の低さに危機感を!

平成十四年、文部科学省の委託調査で、日本とアメリカ、中国の中学生の自己評価を比較した結果が発表されました。

「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」と答えた子どもの割合



「時には、私は役に立たない人間だと思うことがある」と答えた子どもの割合

国民性の違いもあるでしょう。これだけでその国の子育てのよしあしが判定できるとも思いません。

しかしそれにしても、日本の子どもの自己評価の低さは、突出していると思わずにおれません。

日本の子どもが、米国、中国に比べて、特別ダメな子であるはずはないでしょう。それでは、どうして、日本の子どもたちはこんなに自己評価が低いのでしょうか。それこそ、日本の社会が、子どもに対して、何かにつけ「わがままだ」「やる気がない」「甘えている」と否定的な言葉を繰り返してきた、結果ではないかと思うのです。

およそ人間が生きていくために、自分は存在価値がある「生きていいんだ」という、いわゆる自己評価は、最も大切なものです。ところが、私たちは、それをじゅうぶん、子どもの心に育むことをしてきませんでした。

自己評価とは、何かをやらせて、ほめて、育むものは違います。それだと、期待どおりにならないときには、逆に子どもを否定することになってしまいます。

自己評価を育む、ということは、子どもの今のそのまを認めていくことです。勉強ができていなくても、子どもなりに、一生懸命生きている、それをまず認めて、あなたは、とっても素敵だ、大切な子だ、ということ伝えていくのです。

学力が下がったとなると、みんな大騒ぎしますが、もっと大切な、自己評価がこれだけ低いことを、私たちは、もう一度、考え直す必要があるのではないかと思います。

「子育てハッピーアドバイス 三」 明橋大二著より

子育てに自信があると答えられる方がどれくらいででしょうか。

人として一人前に育っていくためには、周りからの愛情が最も大切だと言われます。

親は子どもに期待するあまり子どもに自信をつけるより失わせるよう接することが多いようです。

信頼され不安のない愛情に満たされた中に目標に向かって頑張ることができる子どもに育っていきます。

PTA文庫(本校会議室に常備)の中に子育てのアドバイスとなるたくさん本があります。

今回は前にも紹介したこの本の第三弾から引用しました。

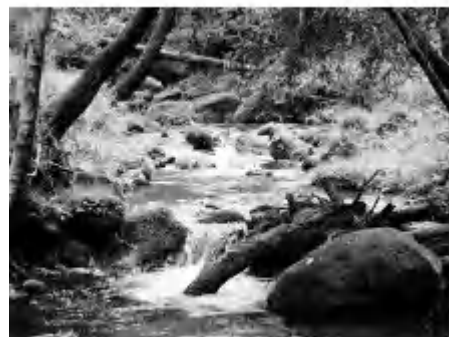
日本火山学会で発表します

十月二十二日(日)に熊本大学で行われる日本火山学会で小学生の研究発表として五年生が発表します。

現在、阿蘇火山博物館の協力を受けて研究にとり組んでいきます。テーマは「消えた湧水のなぞ」です。

碧水小学校の校名のいわれと湧水が消えた謎や原因、湧水のしくみなどについて調べる活動、研究をまとめる作業、発表の練習や資料作りにとり組んでいます。

その一貫として阿蘇山測候所、土地改良区、森林組合にそれぞれ分かれて地震や降水量の変化、山林の面積、耕地面積の変化などを調べる学習を行いました。



「碧水フェスタ」に

参加できる方の情報を募集しています

十一月下旬から十二月初めにかけての日曜日に碧水フェスタを予定しています。参加者は児童、保護者と地域の方々で、会場は碧水小学校体育館です。

昨年まで児童の学習発表会として実施していたものを、今年から地域の方々も参加していただき校区の文化祭的な内容にしたいと考えています。

そこで地域の方々の中でステージで発表していただけるも